

広島市植物公園見どころ案内

ミツマタ (ジンチョウゲ科) 中国、ヒマラヤ原産です。枝が3つに分かれて出るので名がつけました。上質の紙の原料になり、紙幣に使われます。黄色い花が咲きました。

カタクリ 黄花カタクリ (ユリ科)
アジアやヨーロッパのカタクリは赤紫色が普通ですが、アメリカのカタクリは黄色です。どちらもロックガーデンで咲きはじめています。

シクラメン・コウム (サクラソウ科)
原種のシクラメンです。岩の間に愛らしいピンクの花が咲きました。

イワヤツデ (ユキノシタ科)
葉がヤツデに似ていて岩場に生えているので名がつけました。中国原産。

アセドボンバクス (パンヤ科) 花がつぎつぎと咲いています。大小の黒っぽいかたまりは、つぼみです。白い糸を束にしたような花の形から英名はシェーピングブラシツリー(ひげそり用ハケの木)。白い糸はおしべです。

ヒスイカズラ (マメ科)
フィリピン原産の、青い花をつけるつる植物です。大温室2階の一番奥に長い花房がぶら下がっています。つぎつぎと咲いて5月初めまで楽しめます。

アカヤシオ (ツツジ科)
別名は赤城ツツジ。福島県から三重県の太平洋側の山地に分布しています。花は平たい口型。淡いサンゴ色の美しさは一見の価値ありかも。

登電梅 (バラ科) 満開になりました!! 日本庭園のしだれ梅につけられた愛称です。品種名は藤牡丹枝垂れ。ピンクの八重咲きで、大きな滝のように枝が二段にしだれている姿の美しい梅です。

樽 (ツバキ科) ツバキ園では、大輪の園芸品種が咲きはじめています。原種のヤブツバキやカメリア・ポリオドンタ、ユーシエネンシス、フレイシーなども咲いています。

サンシュユ (ミズキ科)
黄色い花が満開です。中国原産です。日本へは江戸時代に薬として伝わりましたが、花や実の美しいのレストランさから、庭木として全国的に広まったそうです。別名は春黄金花。

ゲンカイツツジ (ツツジ科)
玄界灘を囲む、九州北部、中国地方、対馬、朝鮮半島南部に分布するツツジです。赤紫と白の花が満開です。

豆桜 (バラ科) 富士山の周辺に多いので別名フジザクラ。名の通り花が豆粒のように小さい桜です。染井吉野が咲く前に満開になります。

寒緋桜 (バラ科) 台湾、中国南部原産の紅色の桜です。日本では石垣島に分布します。花は全開せず、つりがね状にぶらさがって咲きます。真紅の紅梅と同じ色で並んで咲いているので、桜とは思えない風情です。

